

## 味の素株式会社が発行する 「サステナビリティ・リンク・ボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、味の素株式会社（以下「本法人」）が発行する第 29 回サステナビリティ・リンク・ボンド・無担保社債（以下、「本債券」）への投資を決定いたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2023 年 6 月 15 日）。

「サステナビリティ・リンク・ボンド」とは、あらかじめ定められたサステナビリティ/ESGの目標（SPTs）を達成するかどうかによって条件が変化する債券のことで、調達資金が必ずしも特定の資金用途に限定されません。

本法人は、SPT1 を 2030 年度における GHG 排出量 50%削減（2018 年度比）、SPT2 を 2030 年度における排出量原単位 24%削減（2018 年度比）とし、未達の場合、本債券の償還までに排出権を購入します。金額は、SPT1 が未達の場合は、社債発行額の 0.1%相当額の 10 分の 5 を、SPT2 が未達の場合は、社債発行額の 0.1%相当額の 10 分の 5 とします。

また、本法人は、本債券の発行にあたって、国債資本市場協会（ICMA）が定めるサステナビリティ・リンク・ボンド原則 2020 及びローン・マーケット・アソシエーション（LMA）・アジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーション（APLMA）・ローンシンジケーション&トレーディング・アソシエーション（LSTA）の定めるサステナビリティ・リンク・ローン原則 2023 に則った「サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク」を策定し、第三者機関であるサステイナリティクスより、「セカンドパーティ・オピニオンを取得しております。

当組合は、今後も ESG 投資を通じて、SDGs の達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上